

# 千葉大学医学部附属病院にて入院された 患者の皆様、ご家族の皆様へ

2026年4月2日  
リハビリテーション科

千葉大学医学部附属病院リハビリテーション科では経カテーテル大動脈弁置換術前後におけるリハビリテーションの経過が入院関連機能障害や転帰先に及ぼす因子の解明と題した観察研究を行っており、以下に示す方の診療情報等を利用させていただきます。研究内容の詳細を知りたい方、研究に情報等を利用して欲しくない方は、末尾の相談窓口にご連絡ください。

## 本文書の対象となる方

2019年1月1日～2024年7月17日の間に当院で経カテーテル大動脈弁置換術の術前評価を受け、術前よりリハビリテーションに参加している(または参加した)方

### 1. 研究課題名

「経カテーテル大動脈弁置換術前後におけるリハビリテーションの経過が入院関連機能障害や転帰先に及ぼす因子の解明」

### 2. 研究期間

承認日～2027年3月31日

この研究は、千葉大学医学部附属病院観察研究倫理審査委員会の承認を受け、病院長の許可を受けて実施するものです。

### 3. 研究の目的・方法

本研究の目的は、経カテーテル大動脈弁置換術を施行した大動脈弁狭窄症患者の術前および術後リハビリテーションの経過が入院後の日常生活動作機能低下や自宅退院困難という事象に対してどの程度影響しているかを、過去のデータを遡って調査して特徴を明らかにしようとするものです。大動脈弁狭窄症の患者さんが当治療を受けることで、開胸術よりも早期退院が見込まれ、息切れやめまいなどの症状が改善され、日常生活動作能力や生活の質の向上などよりよい転帰と関連することが報告されております。従って、大動脈弁狭窄症患者さんの退院支援や術前および術後のリハビリテーション、退院

後における生活指導の一助となり、本研究から得られた臨床的意義は高いです。情報収集の方法は、診療記録を用いて過去の状況やリハビリテーション実施内容を収集させていただきます。

#### 4. 研究に用いる情報の種類

診療記録より、以下の臨床情報を収集させていただきます。

患者属性（年齢、性別、BMI、合併症、基礎疾患、術式）経カテーテル大動脈弁置換術における術前および術後評価での身体機能（握力、下肢筋力、歩行能力、バランス機能など）・ADL（Katz index, FIM）・認知機能（MMSE）・栄養評価（GNRI）・社会的情報（介護保険の有無、家族構成、在院日数）・生理学的所見〔血液検査、心機能、レントゲン・エコー等の画像検査など〕の結果です。

#### 5. 研究組織

【研究機関名及び本学の研究責任者名】

研究機関：千葉大学医学部附属病院 病院長 大鳥精司

研究責任者：千葉大学医学部附属病院 リハビリテーション科 診療教授 村田淳

#### 6. 個人情報の取り扱いについて

本研究で得られた個人情報は、氏名等の個人を特定するような情報を削除し、どなたのものかわからないように加工して、厳重に管理します。データ等は、千葉大学医学部附属病院リハビリテーション部の鍵のかかるキャビネットで保管します。研究結果を学術雑誌や学会で発表することがありますが、個人が特定されない形で行われます。

本研究についてご希望があれば、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で、研究計画書及び研究の方法に関する資料を入手又は閲覧する事ができますので、相談窓口までお申し出ください。個人情報の開示に係る手続きの詳細については、千葉大学のホームページをご参照ください。

(URL : <http://www.chiba-u.ac.jp/general/disclosure/security/privacy.html>)

#### 7. 研究についての相談窓口について

研究に情報等を利用して欲しくない場合には、研究対象とせず、原則として研究結果の発表前であれば情報の削除などの対応をしますので、下記の窓口までお申し出ください。ただし、同意撤回を受ける前に収集した情報や、当該研究対象者のデータを含む解析を実施済みの場合には当該研究対象者のデータは削除できない場合もあります。情報

の利用をご了承いただけない場合でも不利益が生じる事はございません。

その他本研究に関するご質問、ご相談等がございましたら、下記の窓口にご遠慮なくお申し出ください。

**相談窓口：〒260-8677**

**千葉県千葉市中央区亥鼻1-8-1**

**千葉大学医学部付属病院 リハビリテーション科**

**増本枝里子**

**043(222)7171 内線6428**